

10月21日(土) 第2会場

一般演題①「VAIVT ①」

15:05 ~ 16:05

座長：伊藤 豊 (四日市腎クリニック)
宮本照彦 (中央内科クリニック)

O 01-1

VA 閉塞に対する生検鉗子の使用経験

泉 久美子 (岐阜赤十字病院 循環器内科・腎臓内科)

O 01-3

内シャント流出路狭窄に対するステント留置の検討

本間健一 (福岡市民病院 血管外科)

O 01-4

静脈留置針を用いた pull through 法による非血栓性閉塞治療

石田亜希 (みやぎ清耀会 緑の里クリニック)

O 01-5

エコーガイド下透析針穿通法による非血栓性閉塞病変に対する VAIVT の新しい試み

井上浩伸 (恩賜財団済生会熊本病院 腎泌尿器センター 腎臓科)

O 01-6

強固な閉塞に対する新しい PTA 方法：血管外よりの貫通穿刺法

岩寄友視 (秀和総合病院 外科・血管外科 / 豊島中央病院 血管外科)

O 01-2

Peripheral cutting balloon の有効性・安全性を確保するための治療手技

甲斐耕太郎 (東京女子医科大学 腎臓外科)

10月21日(土) 第2会場

一般演題②「VAIVT ②」

16:10 ~ 17:10

座長：増子佳弘 (札幌北クリニック)
古田達也 (高山赤十字病院)

O 02-1

頻回血栓性閉塞症例を減少させるために

新宅究典 (あかね会土谷総合病院)

O 02-2

内シャント狭窄に対する、経静脈的アプローチ困難例に対する経動脈的アプローチによる PTA について

植田敦志 (日立製作所 日立総合病院 腎臓内科)

O 02-3

初回シャント PTA の開存成績

野口智永 (吉祥寺あさひ病院 バスキュラーアクセスセンター)

O 02-4

高血流透析と PTA ～動的静脈圧の有用性～

松本富夫 (国立病院機構 柳井医療センター 外科)

O 02-5

EMLA CREAM 塗布による自己血管内シャントに対する PTA 間隔延長への試み

宮本照彦 (医療法人 中央内科クリニック)

O 02-6

臨床工学技士による PTA 介助の有用性

渡邊弘一 (立川メディカルセンター 立川総合病院 腎センター)

10月21日(土) 第3会場

一般演題③「AVF」

9:45 ~ 10:35

座長：廣谷紗千子（東京女子医科大学 腎臓病総合医療センター）
押谷 創（大垣市民病院）

O 03-1

アクセス関連疼痛に対するシャント静脈剥離・神経減圧術の試み - 神経超音波検査の有用性 -

松田浩明（腎不全センター幸町記念病院 外科）

O 03-2

転位上腕尺側皮静脈を用いたシャント再建の1例

緒方孝治（獨協医科大学病院 ハートセンター 心臓・血管外科）

O 03-3

術前低アルブミン血症と内シャント造設術成否の関連

角田亮也（日立製作所 日立総合病院）

O 03-4

シャント作製時のピットフォールと対策

野島武久（のじまバスキュラーアクセスクリニック）

O 03-5

陶磁器様に硬化した動脈への内シャント造設の試み

大久保健太郎（偕行会 名古屋共立病院 バスキュラーアクセス治療センター）

10月21日(土) 第3会場

一般演題④「AVG」

10:40 ~ 11:40

座長：柴田雅也（豊橋メイッククリニック）
副島一晃（済生会熊本病院）

O 04-1

圧電素子を用いた実血流量測定による AVG モニタリングの有効性

谷川浩太郎（あさお会 あさおクリニック 臨床工学部）

O 04-2

術後AVG 血流量の予測式の検討

宮本雅仁（横浜第一病院 バスキュラーアクセスセンター）

O 04-3

ヘパリン共有結合型e-PTFE 人工血管による開存率の改善

関島光裕（鹿児島大学 医用ミニプタ・先端医療開発研究センター 高生体適合性医療機器・臓器開発講座）

O 04-4

シャント流出路の静脈が細径な症例に対する人工血管側壁吻合法の考案

北岡 斎（玄々堂君津病院 総合腎臓病センター）

O 04-5

Arteriovenous graft (AVG)の静脈側(V側)吻合部の工夫～V側吻合部狭窄を防ぐために～

杉原裕基（JCHO 千葉病院 透析科）

O 04-6

人工血管流出路狭窄におけるパンヌスの形成に関して

小川勇一（東京女子医科大学）

10月21日(土) 第3会場

一般演題⑤「表在化」

11:45 ~ 12:15

座長：安富真史 (桑名市総合医療センター 桑名東医療センター)

O 05-1

上腕動脈表在化に生じた仮性動脈瘤の1例

香東昌宏 (大阪市立大学 大学院医学研究科 泌尿器病態学)

O 05-2

表在化動脈内の血栓による不完全閉塞に対する対応とその後

瀧澤亜由美 (東京女子医科大学 臨床工学部)

O 05-3

AVFに動脈表在化を併設した術式についての当院の調査

村上雅章 (静岡県立総合病院 腎臓内科 透析アクセスセンター)

10月21日(土) 第3会場

一般演題⑥「モニタリング①」

14:00 ~ 14:50

座長：久富俊宏 (大垣徳洲会病院)

野倉正敏 (羽島クリニック 人工腎センター)

O 06-1

電子聴診器を用いて導出した聴診における新たな指標の検討

鈴木 修 (総星会五井クリニック 血液浄化部)

O 06-2

Masimo 社製Mighty Sat を用いた VA 管理方法の検討

岡本伊織 (玄々堂君津病院 臨床工学科)

O 06-3

皮膚灌流圧(SPP)を用いたバスキュラーアクセス(VA)評価法の検討

川上崇志 (玄々堂君津病院 臨床工学科)

O 06-4

血液透析が Vascular access に与える影響～透析中のエコー評価～

西川博幸 (大川バスキュラーアクセス・腎クリニック)

O 06-5

心エコーによる下肢挙上時の血行動態変化のモニタリング

下門清志 (藍蒼会 しもかどクリニック)

10月21日(土) 第3会場

一般演題⑦「モニタリング②」

14:55 ~ 15:35

座長：佐々木裕介（埼玉医大総合医療センター）

O 07-1

バスキュラーアクセス再循環率測定によってシャント狭窄が早期に発見できた1例

加賀谷美恵（社会医療法人厚生会 木沢記念病院 医療技術部 臨床工学課）

O 07-2

血液透析回路の変化(バックフロー) ~脱血不良の定量指標としての検討~

奥田圭三（医療法人社団 大誠会 サンシャイン M & D クリニック）

O 07-3

静的静脈圧と動的静脈圧の比較検討

豊澤真吾（独立行政法人 国立病院機構 柳井医療センター 診療部）

O 07-4

灌流インデックス(PI)による上肢動脈の開通性に対する評価

松田政二（あかね会 中島土谷クリニック 透析センター）

10月21日(土) 第4会場

一般演題⑧「VA その他①」

10:00 ~ 11:00

座長：江崎 隆（JA 尾道病院 腎臓内科）

木村行宏（岐阜市民病院 腎臓内科）

O 08-1

シャントレス、カテーテルレス状況での血液透析導入患者の検討

鬼塚史朗（みはま病院）

O 08-2

皮膚-静脈ろう孔作成による新たなアクセスの可能性

若林正則（望星第一クリニック）

O 08-3

バスキュラーアクセスの存在による透析患者の上肢機能および日常生活への影響に関する調査

橋本幸始（信州大学 医学部 附属病院 腎臓内科）

O 08-4

上腕動脈血流量が透析中の循環動態に及ぼす影響

中島譲（博友会 友愛三橋クリニック）

O 08-5

離島におけるバスキュラーアクセス管理への新たな取り組み

安野哲彦（壱岐病院 内科）

O 08-6

上肢エルゴメーターによるVAへの影響

松本将志（大誠会 サンシャイン M & D クリニック）

10月21日(土) 第4会場

一般演題⑨ 「VA その他②」

11:05 ~ 12:05

座長：兵藤 透 (えいじんクリニック)
佐藤 暢 (桃仁会病院)

O 09-1

臨床工学技士による2画面同時録画を用いた効率的で効果的なシャントマップの作成

横山 築 (立川メディカルセンター 立川総合病院 腎センター)

O 09-2

VA 作製前の臨床工学技士による超音波血管マッピングの有用性

北村健太郎 (JA 長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 腎臓内科)

O 09-3

透析導入時バスキュラーアクセス(VA)作製に関わる臨床検査技師の役割

野村圭佑 (クレド さとうクリニック)

O 09-4

透析統合支援システム「Dr.HEMODY」を用いたVA管理

水口泰智 (優久会 伊藤人工透析クリニック)

O 09-5

当院のアクセス管理

橘 健一 (援腎会すずきクリニック)

O 09-6

患者、スタッフへのバスキュラーアクセス管理意識を向上させる取り組み

服部美由紀 (新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院)

10月21日(土) 第4会場

一般演題⑩ 「VA 評価① (US)」

16:05 ~ 17:05

座長：森本 章 (井上病院 放射線科)
小林大樹 (関西労災病院)

O 10-1

Flow Volume (FV)測定を用いた段階的血管縫縮術の有用性

延命寺俊哉 (桃仁会病院 臨床工学部)

O 10-2

当院における透析室エコーの活用について

渡辺彩奈 (医山会 埼玉クリニック)

O 10-3

透析現場での超音波検査を用いたVA管理の有用性

高田博弥 (桃仁会病院 臨床工学部)

O 10-4

超音波断層像による狭窄病変の評価に関する基礎的検討

山本裕也 (大川バスキュラーアクセス・腎クリニック)

O 10-5

病変手前の分岐血管がFV, RIの感度・特異度におよぼす影響

人見泰正 (桃仁会病院 臨床工学部)

O 10-6

PSV測定に基づいたシャント狭窄治療基準

北川 剛 (東京警察病院 外科)

10月22日(日) 第2会場

一般演題⑪「カテーテル①」

9:00 ~ 10:00

座長：宮形 滋 (中通総合病院)
長沼俊秀 (大阪市立大学)

O 11-1

カフ型カテーテルのブリッジユースが長期化した症例について

木村知子 (相模原協同病院 看護部 人工透析室)

O 11-2

Kartagener 症候群にカフ型カテーテルによる透析導入時bridge use を行った症例

澁谷陽平 (相模原協同病院 血液浄化センター)

O 11-3

カフ型カテーテルのブリッジユースおよびシャワー洗浄～高齢透析患者に対する検討

須田春香 (相模原協同病院 看護部 人工透析室)

O 11-4

カフ型カテーテルの多様な使用方法について

窪田 彬 (相模原協同病院 血液浄化センター)

O 11-5

カフ型カテーテルに対するシャワー洗浄についての検討

柴原奈美 (橋本みなみ内科本院)

O 11-6

カフ型カテーテルの新しい固定方法について

柴原 宏 (相模原協同病院 血液浄化センター)

10月22日(日) 第2会場

一般演題⑫「カテーテル②」

10:05 ~ 11:05

座長：宮崎雅史 (腎不全センター幸町記念病院)
木場藤太 (赤心クリニック)

O 12-1

透析用カテーテル短期間挿入による内頸静脈内腔の変化

内野 敬 (東葛クリニック病院 外科)

O 12-2

カフ型カテーテル留置4か月後に総腸骨静脈穿孔が判明した一例

谷山宣之 (北楡会 札幌北楡病院 外科)

O 12-3

血管内径が留置用カテーテルを逆接続した際の再循環率に及ぼす影響

柳澤克哉 (IMS(イムス)グループ 板橋中央総合病院 臨床工学科)

O 12-4

長期型バスキュラーカテーテルの適応に関する検討

肥田 徹 (埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科)

O 12-5

当院におけるウロキナーゼ付カフ型カテーテルの治療成績

中井宏昌 (東葛クリニック病院 外科)

O 12-6

当院における UK カフ付きカテーテルの使用経験の報告

佐藤和宏 (横浜第一病院)

10月22日(日) 第3会場

一般演題⑬ 「VA 合併症①」

9:00 ~ 10:00

座長：前波輝彦（あさおクリニック）

伊藤慎一（大誠会）

○ 13-1

複雑に拡張したラージシャントに対して、“血管内グラフト吹き流し法”を応用した一例

大崎慎一（玄々堂君津病院 総合腎臓病センター 腎臓外科）

○ 13-2

高流量内シャントに対する治療戦略

市野瀬剛（東京医科歯科大学 血管外科）

○ 13-3

前腕AVF 過剰血流に対する橈骨動脈テーパリングバンディング法

佐藤 暢（桃仁会病院 バスキュラーアクセスセンター）

○ 13-4

人工血管を用いた過剰血流抑制術後に過剰血流再燃した 4 例の検討

櫻間教文（重井医学研究所附属病院 外科 ダイアライシスアクセスセンター）

○ 13-5

吻合部隔壁形成術後、過剰血流再燃に血流抑制術RUDI を施行した 1 例

城井一成（神應透析クリニック 検査科）

○ 13-6

バスキュラーアクセス関連スチール症候群の評価として経皮酸素ガス分圧(TCPO2) を用いた 1 例

石川昂央（かりゆし会 ハートライフ病院 形成外科）

10月22日(日) 第3会場

一般演題⑭ 「VA 合併症②」

10:05 ~ 11:05

座長：山川智之（東葛クリニック病院）

安野哲彦（福岡大学腎臓内科）

○ 14-1

当院におけるシャント感染に対する上腕動脈結紮術症例の検討

吉田祐子（福岡市民病院 腎臓内科）

○ 14-2

アキュシール人工血管シャントの狭窄・閉塞パターンの検討

江口大彦（福岡市民病院 血管外科）

○ 14-3

AVF 作製時のシャントマッサージで静脈解離し、エコー下VAIVT 時解離腔の判断がつかず閉塞した 1 例

大川博永（大川バスキュラーアクセス・腎クリニック）

○ 14-4

Klippel –Trenaunay –Weber 症候群に対するバスキュラーアクセス治療の経験

森田さやか（東京女子医科大学 腎臓外科）

○ 14-5

シャント閉塞を繰り返した抗カルジオリピン抗体陽性患者の 1 例

廣畑由樹子（加古川中央市民病院 臨床工学室）

○ 14-6

患者に・スタッフに優しくないアクセス

本宮康樹（翠悠会診療所）

10月22日(日) 第3会場

一般演題⑮「穿刺」

11:10 ~ 12:00

座長：藺田桂子（荒川クリニック）

瀧澤亜由美（東京女子医大）

O 15-1

維持血液透析患者の穿刺疼痛緩和に対するタッチング導入効果

福岡幸子（医療法人永生会 まつした腎クリニック）

O 15-2

穿刺トラブルにおけるポータブルエコーの有用性

伊神隆介（メディカルサテライト岩倉）

O 15-3

穿刺困難患者に対する穿刺前エコー評価の有用性

平ひとみ（あかね会 中島土谷クリニック 透析センター）

O 15-4

穿刺難易度の客観的評価

木村亜由美（済生会熊本病院 臨床工学部）

O 15-5

穿刺に対する姿勢－経験が豊富な穿刺者vs 経験が乏しい穿刺者－

熊倉絵里佳（クレド さとうクリニック）

10月22日(日) 第4会場

一般演題⑯「VA 関連教育」

11:10 ~ 11:50

座長：金山由紀（埼玉医科大学総合医療センター）

O 16-1

ベトナムにおけるアクセス管理の現状と横須賀共済病院でのVAIVT研修に関して

Dinh Duc Long（横須賀共済病院 腎臓内科）

O 16-2

日本アクセスセミナーでのVA造設実技指導からみえてきた、手術が早く上達するコツ

廣谷紗千子（東京女子医科大学 腎臓病総合医療センター外科）

O 16-3

当院の外来患者におけるVascular Access 自己管理の意識調査とその解析結果について

安部貴之（東京女子医科大学 臨床工学部）

O 16-4

視覚に働きかけるスタッフ教育－インシデントレポートから－

輪内敬三（光仁会 看護部 フェニックスクリニック）